

ひろば大代

NO.199

大代公民館

「節分と立春」



大代公民館長 渡 吉正

わが国は四季があつて、それぞれ立春、立夏、立秋、立冬という節分に分かれていきます。それを節分と言つたのですが、農業に従事する太陽暦では「立春」の前日だけを「節分」として、新しい春を迎える節分としました。

この頃は未だ寒気が戻る氣と暖かく春に向かう氣とが攻め合い、邪氣（鬼）が生じて人の健康を損なうので、鬼（邪氣）退治の厄払いに豆まきを思いついたと伝えています。

節分には大豆やイワシを食べます。これは同時に食へることによつて必須アミノ酸が生じて成人病の妙薬となるからで、医学的にも立証されています。

わが家では節分を大歳と言つて、大きな歳を迎えることから「大きなものを食べ」とクジラ肉にコンニャクの白（豆腐）あえを食べる習慣でしたが、これも成分は大豆、イワシと同じ種類のものでした。

一昨日の夕刻、お宮参りをすると拝殿の畳いっぱいに大豆と黒豆の炒つたのが敷きつまっていました。九十歳になられる藤田宮司さんの大太鼓の響きが全身に伝わり、節分の邪氣を払う拍手を打ち、新春からの家族の無病息災を祈願しました。

昨日は立春、二十センチ位の積雪も半分位に解けましたが、今日も午後からはまた気温が下がって窓外は粉雪が舞っています。

二月はきさらぎ（着更着）といい、高山からの吹き下しの風は冷たく、未だ積雪を見ましようが、春は次第に近づいて来ます。

積雪の多い年は、稲に虫が付かず豊年の証しとか、「歎天楽地是吾郷」公民館和室に掛かる井上円了の一行書です。

「子年特集」

今年は何の年！

「四月から六年生」

下市 永井大輔



ぼくは今年四月から六年生です。今の六年生を見てみるとともたいへんそうでした。全校でいるときはみんなをまとめたり、一、二年生などの下級のめんどうをみたりして、

「今年ぼくはこんなことをできるだろうか。」

などと思えます。でも必ずしないといけないから、がんばってやりたいです。ぼくは今年スポーツを昨年よりがんばってやりたいと思います。昨年はサッカー、野球ぐらいいかしていません。たけど、今年は陸上やバドミントンをたくさんして、昨年より数倍うまくやりたいです。そして、いつかなにかの一流の選手になりたいと思います。

もう一つ、勉強で算数がいまいचनाので、算数をがんばっていきなりたいと思います。宿題が少ない日は算数の勉強をしたいと思えます。

六年生になるとたいへんだと思うけど、なんでもきちんとやっつけていきたいです。



「ねずみ年に思うこと」

平 笹木勝彦

今年、ねずみ年と言うことで私にとって二度目の年男になります。

昭和四十七年に生まれてから今年で二十四才になります。私自身あまり自覚はありませんが、小学生ぐらいから見ると「おじさん」の一人と見られていると思うと少し悲しくなります。

もし、近所の小学生が私の事を「おじさん」と呼ぶのを聞いたらすぐに「お兄さん」と呼ぶように言おうと考えています。

話は変わりますが、前回のねずみ年といえはちょうど小学校六年生、その頃の私はきつと中学校への進学と言う事で、頭の中がいっぱいだったと思います。その当時の事を考えると懐かしい思い出がたくさん蘇ってきます。

その中でも小学校、中学校と、一緒に学び遊んだ同級生の事が一番です。

考えてみると中学校卒業と同時にみんなバラバラになったけど、その後同窓会をするわけでもなく、全く音信不通です。今どこでなにをしているか知らない者もたくさんいます。

私が大代町に帰ってきている事を知らない者もいると思います。冷静に考えると、とても悲しくなります。

実際、昔の同級生でなにかしようとしても先頭に立つ者がいないのが現実です。そうなると大代に住んでいる私がやるべきなんだと今思います。同級生の中で同じ事を考えている者がいれば本気で何か考えたいです。

新しい未来にばかり目を向けて、過去を忘れがちな私ですが、この機会にもう一度過去を振り返り、昔の友など一生の宝物を失わないように今後も頑張りたいと思います。

「子年・年男」

山田 坂本静雄



今年、子年、十二支の中でも一番初めの年である。そして私も四回目の年

男になる。何か今年が良い年にと、思いたくなる。

あの小さな「ねずみ」が大黒様に仕え、福を招く縁起良い絵を見かけますが、何か良い事が起きそうと想像するのは、

一昔前は屋根裏で運動会のごとく、何か悪い事でもしているみたいに一生懸命動き回っている。最近、屋根裏でのあの運動会の音はあまり聞かなくなりましたが、何はともあれ私は年男、今迄以上に心を新たに、あの「ねずみ」の様にチヨロチヨロと走り回り、一生懸命張り、五十才の坂道を乗り越えなければならぬ。その為にも心身共に健康でありたいものです。

そして現在は豊富と言う事で一言。物質的豊かさの中で、人々を満す満足感、そういった状況の中、心の豊かさを持ち続け、平穩無事で今年も乗り切りたい。

その内、あの小さな「子ねずみ」が大きな幸運を運んで来てくれるだろうと期待するものである。

「民生児童委員を

引き受けて」

下市 今田文子

昨年十二月一日民生児童委員の委嘱を受けました。田辺幸子さんの後任という大役をもらい、戸惑いと大変な事だと思っております。

今二ヶ月目ですが前任の田辺さんに色々と同じ乍らこなしている処です。昨年私も腰痛の手術をして、とても人様の世話どころではと思っております。だが、養生を重ねて今のところ、大分楽に動ける様になり、私の出来ます範囲でお世話させて頂こうと思っております。

日本人の寿命は女性八二、九八才、男性七六、五七才と世界最高記録を更新、女性は十年間男性は九年間世界一とあります。大代も大田市では一番の長寿率と聞いてとても誇れることだと思えます。市やJAが行う健康診断の受診率が毎年上位で大代の皆さんがそれだけ健康に気を配り、食生活を始めて日常生活の質が向上、環境がとても良からだと思われれます。

新聞やテレビ等で超高齢化と少子化の時代だと言われ、この地域でも若い人の働く場所が少なく、我が家の子供からして帰って来ない現状で子供が増える事は考えられずちよつとさびしい気がします。

四月に西部地区のデイサービスセンターが祖式に完成し、新しく良い施設なので大いに利用させてもらい、健康を保ち乍ら楽しく長生きして頂ける様願っております。

新任の民生児童委員に対して国や県市から研修指導が行われる様ですが、地元の方々からの御指導がより大切かと思えます。両面併せて研鑽して一つでも多くお役に立つ事が出来るよう努めたいと思えます。

これから皆様方の一層のご協力とご指導をよろしくお願い致します。

◆21日(水) JA 腹部長診

◆22日(木) 連合自治会

◆25日(日) 幼、小、公民館合同講演会
(公民館於午後一時)

演題「いい子なのになぜ？」

講師 原 芸平先生

(出雲市青少年指導センター)

皆様ぜひお出かけ下さい。

◆29日(木) 出張確定申告相談

公民館で午前九時〜午後四時

★——★おしらせ★——★

◎社協大代支部より

本郷 島田民一様

上飯谷 山根豊秋様

香典返しに替えて金一封の御厚志を頂きました。厚く御礼申し上げます。

◎大代公民館より

「傘の忘れ物」

最近公民館入り口の傘立てに傘の忘れ物が十数本あります。お心当りの方は公民館までお越し下さい。



トラベル・エッセイ

「人生と旅」(1)

関西高山会会長 市原 宗

上市(本市原)

『月日は百代の過客にして行きかふる年もまた旅人なり』

(芭蕉「奥の細道」)

前東芝副社長長川西 剛氏は「我が生涯は奥の細道のように詩的なものではなかったが、毎日毎日が旅の歩みの積み重ねであった。しかもその旅は単なる漂泊の旅ではなく、遠藤周作氏の言葉にあるように、『目に見えない大きなもの、大きな方の導き』によるものであったことを思わざるを得ない」といい、また麻生磯次氏は、「芭蕉が奥の細道で求めたものは、漂泊や風雅ばかりではなかった。未知の自然への憧れ、古人の心の探索にあった」と言っている。

今、七十余年の人生に思いをはせる時、偉大なる先人の言葉どおり『旅』は私の人生の歩に『目に見えない大きなもの』と大きな導き』を数多く与えてくれた。

初めて海外に旅したのは、約二十年前の事であった。

飛行機が恐くて、友人より海外旅行と一緒にと幾度か誘われていたのではあったが、その都度断わり通して来た。そうこうしている或る日、今年こそは是非にとしつこく勧められ、止むなく不承不承乍ら、応じてしまった。

行き先はバンコクと香港である。旅行には同意したものの、飛行機に対する恐怖心は日に日に募るばかり。どうしたものかと案じているうちに、とうとう出発の日がやってきた。

初めての飛行機の旅。搭乗ゲートを入るときには、もはや緊張のあまり、足も前に進まない有り様で、どうなることかと生きた気持ちではなかった。(こんな重いものが果たして飛び上がるだろうか) (失速して落ちないだろうか)等々思い乍ら、カチンコチンで座席に座っていた。友人はそれを見て後部座席から「心配いらぬよ。大丈夫だよ」と言って、元気づけてくれているものの、不安で体がブルブル震えてくる始末であった。

飛行機はあつげなく飛び上がった。約二十分位上昇のあと、シートベルトを外してもよいとのサインが出た。水平飛行である。この時やっと落ち着きを取りもどした。搭乗機は当時最新鋭のDC8であった。初めて

の搭乗であったので、物珍しさも手伝って、しつかりと窓際を独占して下界を見下ろしていた。「右下に桜島が見えます。当機は高度7000米で飛行中です」とのアナウンスがあった。

桜島の噴煙と紺碧の太平洋とのコントラストは正しく絶景であった。隣の妻に「見てごらん」と言って、座席を交替した。後部座席の友人夫妻を見て驚いた。友人は最初から奥さんを窓側に据えていたのである。友は何も言わなかったけれど、この時ほど赤面したことはなかった。レディーファースト! 国際的雰囲気の中では、やはりマナーが大切であると言うことを、いやと言うほど思い知らされた。この時以来、窓側は絶対譲ると言うことで旅をしている。

少し心の余裕が出てきた。今までの不安感はどこへやら、運ばれてきた

お昼の機内食もペロリと平らげた。

そのうちに、機は台湾上空を南下していた。アナウンスで再び下界を見ると、台湾東海岸を海岸線に沿って飛んでいった。それは、地図で見ると形と同じように見えた。少しうとうとしていると、ティータイムの機内サービスである。ずいぶん行き届いたサービスだなあと、感じ入った。

台湾の島影が見えなくなつてしばらくすると、フィリピンに近づいたとの知らせと、「まもなく本機は最終着陸体勢に入りました。ベルトをしっかりと締めてください。」とのアナウンスである。緊張が再び戻ってきたものの、なんと言う事もなく、機は滑るようにマニラ国際空港に着陸した。

初めての外国である。空港ロビーの雰囲気は、今迄日本で見たものとは全く異なり、唯々物珍しく見やつていた。マニラ空港には、給油と、乗客の入れ替りの為の寄港である。約三時間の後、再び機上の人となり、目指すバンコクに向けて飛び立った。上昇して間もなく、機は雲の中に突入した。窓の外は何一つ見えないまま一時間

位は飛び続けた。余りにも長い雲の中の飛行であつたので、再び不安感に襲われた。「大丈夫かな。方向を間違わずに飛んでいるのだろうか。」等々つまらないことのみ考えていた。それは退屈そのものであつたが、雲も次第に薄れ、雲間から下界の風景が見え始めてきてほつとした。

機は順調に飛び続けていた。

ベトナムを過ぎ、カンボジアを横切り、タイ、バンコクのドン・ムアン国際空港に着陸したのは、現地時間の七時過ぎであつた。日本を出発して、約十時間あまりフィリピンで一度休憩したとは言ふものの、長旅で少々ばて気味であつたが、空港ロビーで、一人一人、首にレイ(花輪)をかけてくれたの歓迎には感激であつた。南国の花をいくつも糸に通した、素朴なレイではあつたが、中でもジャスミンの香りには、なんとも言えない快さと安堵感をもたらししてくれた。

早速タクシーに乗り、ホテルに向かった。

夕食時間も相当すぎていたので、途中バンコクで一番おいしいと言われて

いる「サボイ・シーフード」と言う海鮮料理専門のレストランに立ち寄つた。

レストランでは店の入り口付近から通路の両側に長く続く大きな水槽があり、タイ湾や、アンダマン海で獲れた海老・蟹・タコを始めとして、いろいろの魚介類が、ぎっしりといれられていた。中でも、始めてみるブーケットロプスターには驚いた。正直いつて今迄見たことがなかつたからである。

好みの魚介類を指定すると、網で早速救い上げ、手早く料理して食卓に届くのである。何もかも初めての体験であつた。「ああ、来て良かった！」と今迄の無知を恥じる思であつた。

レイを首にしたまま甘く心良い香りに浸りながら、タクシーでドウシット・タニ・ホテルに入った。このホテルはタイ資本のドウシット系の格調あるバンコク一・二を争う高級ホテルで、日本の建築会社が建てたと言う説明を受けて、

少々鼻の高い思いであつた。



特集 II

「市長と語る会」の記録

昨年十一月二十七日(月)午後二時より大代公民館で渡館長の司会で、町民四十九人が参加して表記の会が開催された。以下はその内容である。

一、県道について

(1) (高村連合自治会長が質問) 祖式く大家間の改良は何年程度からなるか。祖式迄の県道はよくなるが、こっちの線を久利から大田迄の工事と同時進行は出来ないか?

(藤本建設部長の答) 国の方針に基ずく県の主要地方道の改良として進めるが、時期は申し上げられない。大家バイパスの進捗状況をにらみ乍ら進められることになる。

(2) (高村会長) 八反田より上市へのバイパス新設は何時頃になるか。

(建設部長) 大代の町中を、ダンプが通行している現状からバイパス計画が必要である。別枠予算要求を作る。計画の具体化に伴って、土地の提供について地元の全面的な協力をお願いしたい。

(3) (高村会長) (1)と(2)が前へ進んでいないので、カーブの切り取りと路面補修を早急にお願したい。(建設部長) 地元より具体案を示してほしい。住宅の善隣地図を利用して下さい。

二、市道について

(1) (高村会長) 市道川上線の改良 四日市から植松經由の

学童通学路の幅員拡張 をお願いしたい。

(建設部長) 現在合計六百七十五米の改良を実施中である。現地調査をして改良の方向で進めたい。

(2) (横本郷自治会長) 県道より本郷線への進入路の整備と幅員拡張 延長一、五Kmの六路線を結ぶ主幹道路 をお願いしたい。

(建設部長) 取り付け部分の拡張は非常に難しい。県と協議し乍ら進める。現地調査が先である。

(3) (横会長) 除雪について 本郷、山田線の除雪要請と今西線の救急車進入可能となり得る特別配慮を 指定路線を増やしてほしい。

(建設部長) 大代は二十二路線を指定路線として認定しているが、今年度の除雪路線会議で老人問題も踏まえて進める。

(笹木平自治会長) 今年始め、会社のオペレーターと三人で山田、本郷の地元で要望している五路線を歩いて検討してみたが、五本全部除雪は出来るとの事だった。

(横会長) 業者を仕事の出来る業者に替えて貰いたい。(建設部長) 除雪路線会議の中で考えたい。今西線の問題だが、県道取り付け部分は坂の状態になっているので簡単に行かない実情である。大家バイパスとの関連もあるので、この問題を考えたい。

(4) (高村会長) 街灯、防犯灯の設置要請 県道祖式、大家間の学童通学路及び市道通学路

(大久保教育長) 中学生が歩くことの無い様にした。早い機に実施したい。県道については県土木との協議が

必要である。

(5) (繩手樺自治会長) 道路標識設置について 市道川上線より井田孤口線への進入路標識の必要性 〓

(建設部長) 地元で設置をお願いしたい。

三、大江高山開発について

(1) (繩手会長) 大型農道新設について 〓川上から本郷への建設を要望します。

(大谷経済部長) 正式に検討する。地元負担がかかるが出来るだけ負担のかからない様にしたいと考えている。

(2) 高山登山道整備について 〓山田の武田実氏宅付近から飯谷の泉幸人氏宅付近まで、コンクリ舗装で駐車場を作りたい。 〓

(3) 高山山麓の林道整備について 〓川上から山田へ林道を新設して登山道として繋ぎたい。 〓

(4) 登山者への対応について 〓年間一千人に及ぶ登山者への便宜(登山道の早急整備)を早急にお願したい。 〓
以上の(2)(3)(4)については(笹木会長が質問)

(熊谷市長) 自分は高山の麓迄は行ったが、登ったことは無い。登ってみたいと思う。これの開発については真剣に取り組んでみたい。予算的な措置も構じなければならぬので、部内で検討したい。

(経済部長) 観光と致しましては大森と三瓶山であって高山の位置付けは現在していない。この問題は地元の町づくりを基本にして考えて行かねばならぬ。林道の位置付けが出来るかどうか。原道を若干拡げてコンクリ舗装が出来ないか考えてみる。

四、(高村会長) 中山間地対策事業と予算について 〓具体的な項目、内容、平成七年度の実績はどうか 〓

(経済部長) 総合整備として来年から調査、設計をしてやろうと思っている。現在は農道や圃場整備、水道等の事業をやっており、平成七年度は八億円の上乗せの事業が来ている。圃場整備の生産基盤型は十丁歩が単位で地元負担は、今迄は二十五%だったが、この分では五%になる。現在、山口町や池田町で話を進めている。地元でやりたい希望があれば、案を出して貰って市と会合を持ちたい。

五、その他

(1) (繩手会長) 全国農村総合整備モデル事業に基ずく川上の飲料水調査の件だが、今年の夏に水量調査をやった折、機械がこわれてしまったと聞いているが、その後の進捗状況はどうか。

(経済部長) 詳しい事情を聞いていないので、今返答が出来ない。後程お答えしたい。

(2) (山田自治会原田一徳氏) 山田の田植囃子の道具の格納庫を作って貰いたい。

(市長) 市としてもご援助申し上げる様にしたい。

(3) (後藤婦人会長) (4) うちの孫が此の前午後七時半に帰って来た。その間、停留所で何をしているのか心配である。
(5) 祖式のデイサービスセンターができるが温泉津にある消防西部分署の分場所を大代に作ってほしい。

(6) 大家八幡宮の宮司さんへ市民章を差し上げられないか。

(7) 波根の運動公園はどうなっているか。

⑤年乳パックを市の遷送に託することが出来ないか。

⑥婦人会活動に市の助成金をお願いしたい。

(清水総務部長) 只今の六点については時間も超過しているので後程文章で回答致します。 以上

(文責N・I)

「大田桜江線促進期成同盟会よりおしらせ！」

副会長 市原仁郎

昨年十一月二十八日(火)表記同盟会では大田市及び、県土木へ陳情を行いました。大代町からは私と高村連合自治会長の二人が出席しました。市では建設部長と助役に陳情。県土木では岩倉所長と野津工務課長にお会いしました。所長さんのお話では

①大代・祖式間の改良工事については、仁摩・瑞穂線の工事が済まないとかかれない。原道のカーブの切り取りとか拡幅をやっても無駄な金を使うことになるので、少し待つて貰った方が良いのではないか。建設省は百年先を考えて道路を作れとの指示が来ている。

②大家バイパスの件、町民の皆さんにご迷惑をお掛けしないで申し訳ない。平成八年度の予算要求をしているのでそれが通れば土地の提供について、地元の方と会合を持って進めたい。……とのことでした。

